

三河商人道

PART
161

本田幸晴行政書士事務所

代表

本田 幸晴 君



青年部とは 大人の学校



平成15年より岡崎市葵町にて行政書士の事務所を運営されている本田幸晴さん。行政書士の道を選んだきっかけは、前職を辞めて求職中にたまたま本屋で発見した漫画「カバチタレ」。「これだ！！」と思い、行政書士試験にチャレンジ！猛勉強し、見事2回目で合格されたそうです。主な仕事は役所、県、国などへ提出する書類の作成などを行っておられます。なかでも特に多いのが外国人入国手続、ビザ、帰化に関する依頼だそうです。多い日は一日に5人もの外国人の方の対応をされるそうです。岡崎の外国人駆け込み寺のような存在で、困った外国人を助け、感謝され泣いて抱きつかれたとのエピソードを嬉しそうに語る本田さん。仕事に関してとても熱心に、真面目な顔、時に笑顔で熱く語る本田さんが印象的でした。

行政書士事務所を開業し、2年後の平成17年に OB の岩木稔さんの紹介で岡崎 YEG に入会。何も解らないまま、紹介者の勧めで入会なさったそうです。

20周年事業で行われた「ジュニエコ」が本田さんの中で一番思い出に残る青年部活動だそうです。期間が長く、とても大変だったとの事。オフィスの一番目立つ場所に当時のジュニエコハンバーガー店の「ハンバックス」のメンバーから贈られた記念写真と寄せ書きが飾られていました。そして平成25年度は監事を経験され、その時期が YEG の事を一番深く考えたと言っておられました。楽しくないけど自分も進化出来た時期だそうです。

そんな多忙な本田さん、ほぼ休み無しで毎日働いているそうです。「趣味は？」との質問には即答で仕事！毎日7時には事務所、9時には入国管理局、その後顧客対応、役所に出向き、夕方にはまた事務所。ハードなスケジュールの後のカラオケ、お酒も欠かせない趣味だそうです。たまに休みが取れると奥様と二人でウォーキングにも出かけるそうで、愛妻家で素敵な一面も伺うことが出来ました。

「青年部とは大人の学校」、経験の場であり、良き友達が沢山出来て、人として磨かれる場所。普段事務所の代表者として、叱る事はあっても、叱られることは無く、青年部メンバーは困っていれば助けてくれる。そして調子にのっていれば、叱ってくれる。自分の為にやっている事で一生懸命やっていたら仲間が出来て、それは財産。その副産物として仕事の依頼なども付いてくる。実社会では出来ない経験を体験し、学ぶことの出来る場所と語って頂きました。

とにかくハードで多忙な本田さんですが、いつお会いしても元気でパワーを与えてくれます。今回事務所へお邪魔した際にもレッドブルを全員に振舞って頂きました。これも本田さんのパワーの源なんだなと感じました。



取材担当/
渉外委員会
平岩哲朗、大野俊介、
石川真一、辻村謙介